

# 第43回さいたま活性化サロン 共創による新規事業開発 ～渋沢MIXオープンイノベーションプログラム～

「さいたま活性化サロン」は、関東財務局が主催する、地域経済の活性化や地方創生に向けた経営者・有識者との対話プラットフォームです。

第43回目のさいたま活性化サロンは、「渋沢MIX」とのコラボ企画です。

## 渋沢MIXとは？

2025年7月25日に開設された埼玉県が設置・運営するイノベーション創出拠点。

渋沢栄一翁が、生涯で約500もの企業設立に関わり、人と人・人と企業をつなぐことで社会的価値と経済発展を生み出した精神に着想を得て名付けられました。

### ● コンセプト

- ① オープンイノベーションの創出・促進
- ② スタートアップの創出・成長支援
- ③ イノベーションを担う人材の育成

### ● 渋沢MIXで出来ること

- ① イベントへの参加
- ② 専門人材による相談・マッチング
- ③ オンラインコミュニティへの参加
- ④ コワーキングスペース等の利用
- ⑤ 各種情報のチェック



## ☆ 渋沢MIXオープンイノベーションプログラム「Canvas」

埼玉県内企業の成長を支援するため、県内企業と全国の企業をマッチングし、新規事業創出や企業の課題解決に向けた伴走支援を行うプログラム。自社課題の整理から新規事業テーマの設計、全国のパートナー企業とのマッチング、ビジネスプランや実証事業の計画策定、プロジェクトの進行管理、事業化に向けたマイルストーン設計まで一貫した支援を実施。1プロジェクト最大500万円の支援金もあり。2025年度は15件の共創プロジェクトを組成。 ⇒<https://shibusawamix-canvas.eiicon.net/>

## オープンイノベーションから生まれる新規事業創出セッション

● (株) eiiconの丸川氏より、新規事業が求められる背景や、共創で新規事業に取り組むメリット、オープンイノベーションの必要性をお話しいただくとともに、2026年度版「Canvas」の概要についてご紹介いただきました。

### オープンイノベーションとは？

自社の技術やアイデアに固執せず、他社や大学、スタートアップ、地方自治体などが持つノウハウや技術を積極的に取り入れ、革新的な製品やサービスを創出する（**意図的に**社外のプレイヤーと手を携える）経営手法。



● 2025年度の「Canvas」に採択され、新規事業に取り組んだ、丸文（株）の樋口氏と（株）フレンドリーテック角田氏にご登壇いただきました。それぞれの立場から、共創だからこそ良かった点や苦労した点等について詳しく伺うことができました。

✓大企業とスタートアップという組み合わせであったが、フラットな関係でコミュニケーションを図ることができたことが、うまくプロジェクトを進められた要因の一つ。

✓新規事業への投資判断は難しいが、県からの支援金があることで最初の一步を踏み出しやすくなる。

✓長期目線でのしっかりとした計画も必要だが、新規事業はやってみないとわからないことが多い。初期投資は小さくしてPDCAを回し、改善しながら進めていくと良い。

### (参加者からのご感想)

- ・企業同士が出会い、繋がり、新しい事が始まるような、ワクワクできる場として大変有意義に過ごさせていただいた。
- ・弊社でも新規事業について検討を始めたところであり、実際の成功事例を聞いたこと、関心を持っている他社との名刺交換・意見交換ができたことは大変刺激になり、良い機会だった。

